

2/15 アグリマイスター顕彰制度（後期）で14名 が称号を獲得。3/19 岩手日報で報じられました

アグリマイスター懸賞制度とは、全国の農業系学科等に在籍する生徒を対象に、日頃の農業学習、や職業資格の取得、技術・技能検定の合格を通して、農業に関する知識・技術・技能を習得し、自信と誇りを持って、産業界で活躍できるよう励ますことを目的として、全国農業高等学校長協会によって作られた制度です。今期は全国で1094名が認定されています。

(第3種郵便物認可)

岩手日報

アグリマイスター顕彰制度

遠野市松崎町の遠野緑峰高(阿部伸校長、生徒150人)は、農業系学科の生徒が身に付けた知識、技術、技能を総合的に評価するアグリマイスター顕彰制度(2017年度)で、全国で10校だけの学校表彰を受けた。

生産技術科(農業クラブ)1~3年の生徒103人のうち、1割以上となる14人がマイスターの称号を得たため。生徒が刺激合いながら日頃の学習を積み重ねたことが栄光につながった。

農の技研さん 全国学校表彰

遠野緑峰高

菊池さんは「草花班の菊池遥香さんは、2年時に園芸科生ラワーアレンジメントコンテストに出場。3年時には農業学習の到達度を確認する日本学校農業クラブ連盟のFFJ検定中級に合格。個人としても研さんを積み、14人の中で唯一、ゴールした。菊池菜太さんは「草花班に

生産技術科

同制度は全国農業高等学校長協会が実施。在学中に取得した資格や合格した検定試験、コンクールの成績などを得点に換算し、ブラチナ、ゴールド、シルバークラウドの3段階でアグリマイスターの称号を与える。生産技術科の3年生は17年度、草花研究班がホップのつるから作る和紙の開発プロジェクトで、日本学校農業クラブ東北連盟大会の最優秀賞を受賞し全国大会

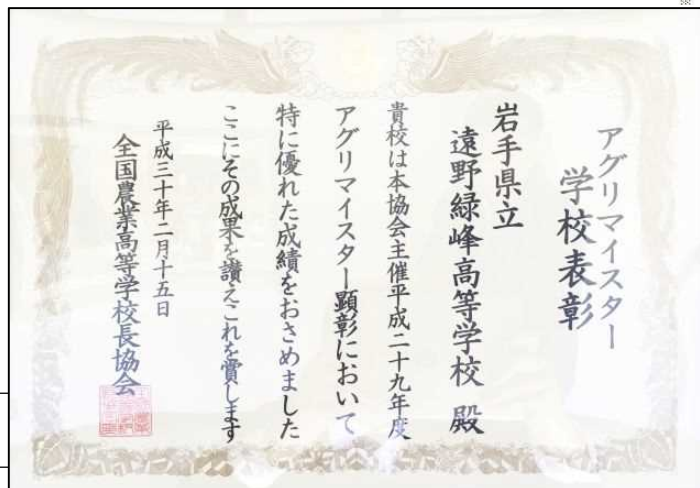
14人が称号を取得 仲間や地域 刺激の存在

に出場するなど数々の優秀な成績を残し、14人がマイスターに輝いた。菊池さんは「ホップ和紙の活動では企業や市民の皆さんと連携し、価値観の違いを知ることができた。アグリマイスターを目指してこれまでの活動が結果につながった」と充実感を語る。飛躍に期待する。



アグリマイスターの称号を得た生産技術科の生徒と指導した村上利行教諭(前列中央)

岩手日報 平成30年3月18日付
朝刊 著作物使用許諾済み



平成30年2月15日 本校にて